

STP-ep 基本手順書

1. 下地処理

- ① ケレン処理は Sa2.5（一種ケレン）が標準です。
現場の状況・担当責任者のご判断により電動工具による二種ケレンも選択可能です。
- ② その他
母材に研磨粉及び油脂等が付着している場合は、アセトンや揮発性の高い溶剤等で除去して下さい。

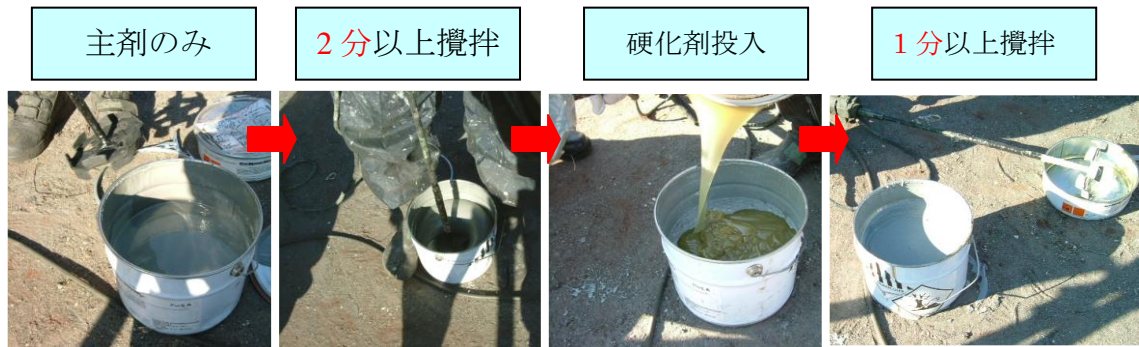
2. 計量、混合、攪拌

主剤と硬化剤を混合比率（**重量比 5 : 1**）に従って正確に秤で計量し、混合、攪拌をして下さい。

- ① **攪拌機**を準備して下さい。



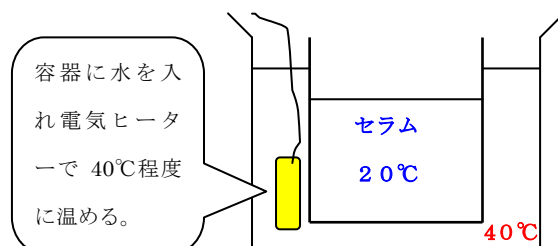
- ② 主剤を開封し、主剤のみの状態で**攪拌機**を使用し**2分以上**攪拌して下さい。
（※2分以上：沈殿していたセラミック成分を十分に攪拌する為。）
- ③ 更に硬化剤を投入後**1分以上**攪拌して下さい。



参考：冬期など低温下では主剤の粘度が高くなり、混ぜにくくなる場合があります。

使用前に主剤を温めておく事をお勧めします。（目安：20℃）

<温め例>



3. 塗装方法

- ① 吹付け：ポンプ圧力比率が 30 : 1 以上の機種を使用して下さい。
チップサイズ：0.013～0.017”（調整可）
エアガンでの吹付けも可能



- ② 手塗り：万能タイプのスモールローラー、刷毛で塗装できます。



4. 1セット容量 19.98kg/セット（主剤 16.65kg 硬化剤 3.33kg）

5. 一回当たりの塗膜厚

	塗膜厚	
	ドライ膜厚	ウェット膜厚
エアガン	100～200 μm	100～200 μm
ローラー刷毛	75～150 μm	75～150 μm

※無溶剤タイプの為、ウェット膜厚及びドライ膜厚は、ほぼ同じです。

※上記は、垂直面において垂れない塗膜厚の限界値です。

※希釈剤は使用しないで下さい。

※塗装用具を洗浄する場合は専用シンナー又はアセトンで洗浄して下さい。

6. 塗膜厚と理論塗布量

塗膜厚		
ドライ塗膜厚	ウェット膜厚	理論塗布量
100 μ	100 μ	0.153kg/m ²

7. 可使用時間

周辺温度	20℃
可使用時間（19.98kgセット値）	約 1 時間

※特に夏場の高温時期にはついては可使用時間を超えると急激な硬化反応により、膨張と発煙を起こす場合がありますので、小分けや冷却等の対策が必要になる場合があります。

8. 硬化時間

素地温度	完全硬化	重ね塗り	
		最短	最長
20℃	24 時間	5 時間	7 日間

※気象条件や塗膜厚によって異なるため、あくまでも目安となります。